

新型コロナウイルスの重症化を防いだ「漢方薬」とは？ 専門学会が注意喚起も

話題 AERA dot.

8/1 16:00



清肺排毒湯 (提供/永井良樹医師)

新型コロナウイルスの治療薬の開発が世界中で期待されているが、中国では武漢での流行初期から、感染患者に漢方薬を用いて重症化を抑えたという。果たしてどんな漢方薬なのか？ 日本での処方とは可能なのか？ 専門医に取材した。

中国・武漢での発生に端を発する、新型コロナウイルス感染症。日本で現在使える薬剤は、重症例に対するレムデシビルとデキサメタゾンのみ。そのほかは、まだ臨床試験で有効性・安全性を確認できていないため、承認されていない。

一方、中国では、西洋薬に加え、漢方薬を用いることで、早期に新型コロナウイルス感染症を鎮圧したとされている。

3月23日、武漢での記者会見で、国家中医薬局・余艷紅氏は、同薬はコロナ感染患者の91.5%に当たる7万4187人に用いられ90%以上の患者に有効だったと報告した。軽症もしくは中等症の患者に有効で、重症化するのを防ぎ、死亡者を少なくしたということだ。

東海大学医学部付属東京病院で漢方外来を持ち、国際東洋医学会理事の永井良樹医師はこう説明する。

「中国で新型コロナウイルス感染症に対して用いられたのは『清肺排毒湯（せいはいはいどくとう）』という漢方薬です。中国では有史以来、数限りない流行性感染症に見舞われてきましたが、その病気を『傷寒』と呼び、古人の教訓や薬方を集めて、約2千年前に『傷寒卒病論』が作られました。清肺排毒湯はそこに根拠を置く薬で、新型コロナウイルス感染症も『傷寒』と考えたわけです」

清肺排毒湯は、大青竜湯（だいせいりゅうとう）、小柴胡湯（しょうさいこうとう）、五苓散（ごれいさん）、射干麻黄湯（やかんまおうとう）、橘皮枳実生姜湯（きっぴきじつしょうきょうとう）の五つの漢方方剤を合わせ、それに幾つかの生薬を去加したもの。日本でも保険で使える生薬の組み合わせでほぼできる。

「清肺排毒湯を処方することで湖北省の複数の仮設病院のなかには、入院患者564人のうち一人も重症化しなかった院もあり、他院も重症化率は2～5%だったというのです」（永井医師）

4月17日、北京中医薬大学王偉副校長は国務院での記者会見で、「清肺排毒湯は新型コロナウイルス感染症の特効薬だと考えている。国内外の研究者が他の治療方法と比較研究することを歓迎する」と述べている。

日本では、こういった漢方薬は用いられないのだろうか。

「日本ではPCR検査で陽性と診断されたら、隔離されますが、隔離先の大きな病院ではほぼ漢方薬は処方されないでしょう。医療従事者の多くが西洋医学に基づいて診療しており、漢方という選択肢がないからです」（同）

西洋医学では臨床試験で有効性・安全性を確認できて初めて薬剤の使用が承認される。こうした科学的根拠（エビデンス）に基づく考え方は、新型コロナのような人類が初めて遭遇する感染症に対しては通用せず、遅きに失する可能性がある。漢方は「傷寒」に対して用いられ、西洋医学の対応できない部分に対応したといえる。

そんななか、日本でも一部の医療者は中国の対応に注目し、清肺排毒湯を処方する医師もいたようだ。日本感染症学会のホームページには、2月以来、新型コロナ感染症に対する中国のガイドラインの日本語訳が掲載されている。そこには清肺排毒湯についても記されている。

また、5月、日本東洋医学会のホームページに「中国発の新しい生薬製剤使用に関する注意喚起のお知らせ」と題する告知が掲載された。

その経緯について、日本東洋医学会会長の伊藤隆医師はこう説明する。

「私たちは中国のガイドラインや清肺排毒湯を否定するものではありません。むしろその効果を検討する立場にいます。ただ、実際に中国のガイドラインのやり方を踏襲すると幾つかの問題点があることも確かなのです」

伊藤医師はこう続ける。

「中国で清肺排毒湯が作られた背景には、急激に増えた患者さんに対応する必要があったからです。可能性のある処方を組み合わせ、目の前の患者さんの重篤化を防ぐため急務をしのぐ目的の処方と言うこともできるのです」

清肺排毒湯は、日本で常識的に使う5倍程度の分量であること、3日おきに処方継続の要不要を考慮すべきこと、2週間が処方の限度であるということ、この3点を留意しないと安全性を担保できないという。「ですから、経験豊富な漢方専門医や薬剤師のもとできちんと管理して処方するべきなのです」（伊藤医師）

実際、伊藤医師も漢方医学的な診断のもとにエキシ剤などを使い、結果として清肺排毒湯に類した処方によって治療にあたった例があるという。

「コロナ流行初期のころ、37度5分以上が4日以上続かないと検査が受けられなかった時期に、そういう患者さんを診たことがあります。おそらく漢方専門医のなかには清肺排毒湯を使ったり、参考処方として治療した医師がいる可能性があります」（同）

現在、日本東洋医学会は、「COVID-19一般治療に関する観察研究ご協力のお願い」という告知をホームページに掲載している。軽症から中等症の新型コロナウイルス感染症患者（疑いも含む）に対する、西洋薬、漢方薬治療による症状緩和、重症化抑制に関する多施設共同の観察研究への協力をお願いだ。日本感染症学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本病院総合診療医学会、日本救急医学会、日本呼吸器学会といった学会にも協力を求めている。

「東北大学病院漢方内科の高山真医師が中心となっておこなう研究です。これまで処方した事例を集めて分析する観察研究ですが、重要な研究と言えます」（同）

新型コロナの第2波への備えが注目されるが、今後、別の新たな感染症が流行することも想定しておかねばならない。その対処法の一つとして、西洋医学だけでなく漢方も選択肢に入れておくべきで、漢方専門医の育成も重要になってくると伊藤医師は強調する。

「現在、日本に30万人いる医師の中で、日本東洋医学会が認定する漢方専門医はわずか2千人程度です。より多くの医師が漢方医学の学習をされて対応できるようになることが望まれます」

前出の永井医師はこう話す。

「医学部における漢方教育は少しずつ進んでいます。医師国家試験に漢方の問題が出ていないため、漢方の普及は望めません。和漢薬という日本の宝を持ちこたにするのは残念です。今回のコロナを機に、新しい医療体系を模索すべきです」

来たるパンデミック（世界的大流行）時代に対処する医療の構築が急務であることは間違いない。（ライター・伊波達也）

※週刊朝日 2020年8月7日号

新型コロナウイルス バンデミック PCR検査 レムデシビル 第2波



ASKUL

あわせて読む

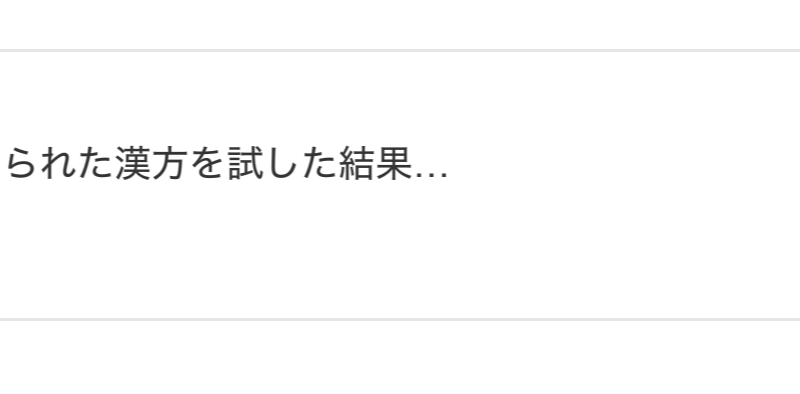
- 9月にも大規模治験開始＝米メルクのコロナ治療薬 (8/1 08:39 時事通信社)
- 日本向けワクチン6000万人分で米製薬会社と合意 (7/31 19:02 テレビ朝日)
- アース製薬の女性社員が語る「室内のゴキブリ“危険エリア”」 (7/31 11:00 女性自身)

【PR】(なにをしてもダメだった耳鳴り...解放された秘密は漢方？) (PR) 源平製薬

関連リンク

- 新型コロナ「近距離エアロゾル」の実態 専門家239人が指摘した空気感染の可能性 (AERA)
- コロナ「抗体」長続きしない？ 3カ月後の持続者は16.7% (週刊朝日)
- コロナで症状出る人と出ない人の違いは？ 帯津医師、免疫力に注目 (週刊朝日)
- BCG有無でコロナ死亡率「1800倍差」の衝撃 日本や台湾で死者少ない「非常に強い相関」 (AERA)
- アフリカ出身・京都精華大サコ学長 コロナ問題でわかった「日本人のホンネ」 (dot.)

【PR】るくに顔も洗わない夫の毛穴から11年分の巨大な角栓...



ASKUL

話題ジャンルの最新記事

- ラーメン二郎亀戸店がオリジナルマスクの予約販売を開始 手ぬぐいとセットで3000円 (8/1 22:10 ITMedia ビジネスオンライン)
- 脱走子ヤギ、8月になっても崖の上で「かわいい」と人気者 (8/1 22:05 スポーツ報知)
- 英映画監督アラン・パーカーさん死去...マドンナ主演「エビータ」など (8/1 21:09 読売新聞)

【耳鳴り】に悩む人が殺到！効果が認められた漢方を試した結果... (PR) 源平製薬株式会社

東出と杏に離婚成立も雲隠れ...唐田えりかの危機的な女優生命 (8/1 21:02 女性自身)

これはヤバイ、毎日無料半額クーポンが使えちゃうなんて！今すぐDL (ニュースバス)



東京女子医大「夏の賞与1カ月分」支給決定 コロナ担当看護師「嬉しいはない」【内部文書入手】 (8/1 19:58 文春オンライン)

39都府県でベッド利用率増 埼玉、大阪は40%超える (8/1 19:43 朝日新聞デジタル)

“第2のあいみょん”となるか...18歳の松竹芸能初シンガーソングライターが初CMソングに込めた思い (8/1 19:30 まいどなニュース)

千葉県で73人の感染を確認 3月28日の61人を上回り過去最多 (8/1 19:20 ABEMA TIMES)

東出昌大 不倫報道から約半年...チームを支えられ再建の兆し (8/1 19:14 女性自身)

カウンタックのエンジンを搭載したSUV、ランボルギーニ「LM002」がオークションに出品!! (8/1 19:10 くるまのニュース)



ファンデ級BB！？肌に優しいのにこのカバーカとは何事... (PR) テーマン

「神にならなかった」3人殺傷容疑者の素顔は「おとなしい」「勤務まじめ」...小川泰平氏が地元取材 (8/1 19:05 まいどなニュース)

女性問題報じられた東出昌大さん、杏さんと離婚...連名で「多くの方々に迷惑かけた」 (8/1 18:56 読売新聞)

埼玉県で新たに74人の感染確認 過去最多を更新 (8/1 18:55 ABEMA TIMES)

いきものがかり吉岡聖恵さん、一般男性と結婚...「これからも感謝の気持ちで大切に」 (8/1 18:52 読売新聞)

【PR】薬も服分初回も...高血圧治療本を無料プレゼント (PR) 株式会社イコールヒューマン



被災地ボランティアの負担軽減、ロボットスーツ無償で貸与 (8/1 18:37 読売新聞)